

吉野川流域のワーキングの報告

吉野川流域のワーキングのあゆみ

- 吉野川流域では、ワーキングを設置して、生息環境づくり、地域・人づくりの検討を進めている。
- 生息環境づくりは、旧吉野川津慈地区湿地環境づくりワーキングにおいて、旧吉野川津慈地区河川整備事業地のよりよい湿地環境の創出並びに利活用や管理運営の具体化に向けた検討を行っている。
- 地域・人づくりは、鳴門地区地域・人づくりワーキングにおいて、コウノトリが営巣・繁殖した環境を活かした魅力的な地域づくりや人材育成等の具体的な事業の推進に向けた検討を行っている。

生息環境づくりに関するワーキング

鳴門地区生息環境づくりワーキング
設置：2018年11月27日 解散：2023年1月10日 検討内容：旧吉野川津慈地区河川整備事業地の湿地環境が担う役割や、基本的な構造条件を検討し、整理した。
旧吉野川津慈地区管理運営あり方検討ワーキング
設置：2023年6月6日 休止：2023年11月16日～ 検討内容：旧吉野川津慈地区河川整備事業地への民間活力の導入を検討した。サウンディング調査を実施したが、直接的な資金や人材に関する提案は得られなかった。本事業地の湿地創出のイメージができた段階で、再度サウンディング調査を実施予定であるため、本ワーキングは次期サウンディング調査まで休止としている。
旧吉野川津慈地区湿地環境づくりワーキング
設置：2024年1月31日 検討内容：旧吉野川津慈地区河川整備事業地の試験施工、本施工に関する事項、利活用や管理運営に関する事項、モニタリング、フィールドワークに関する事項を検討する。

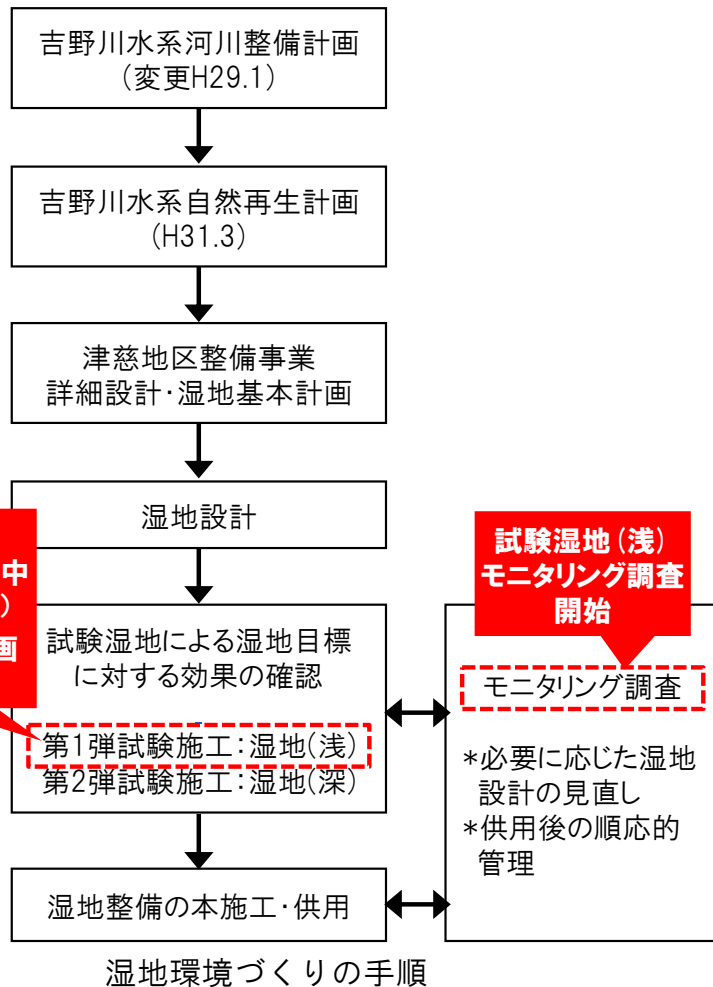
地域・人づくりに関するワーキング

鳴門地区地域・人づくりワーキング
設置：2019年9月30日 検討内容：鳴門市におけるコウノトリが営巣・繁殖した環境を活かした魅力的な地域づくりや人材育成等の具体的な事業の推進や地域の課題について検討する。

第3回旧吉野川津慈地区湿地環境づくりワーキング [WG資料より]

旧吉野川津慈地区での自然再生の推進

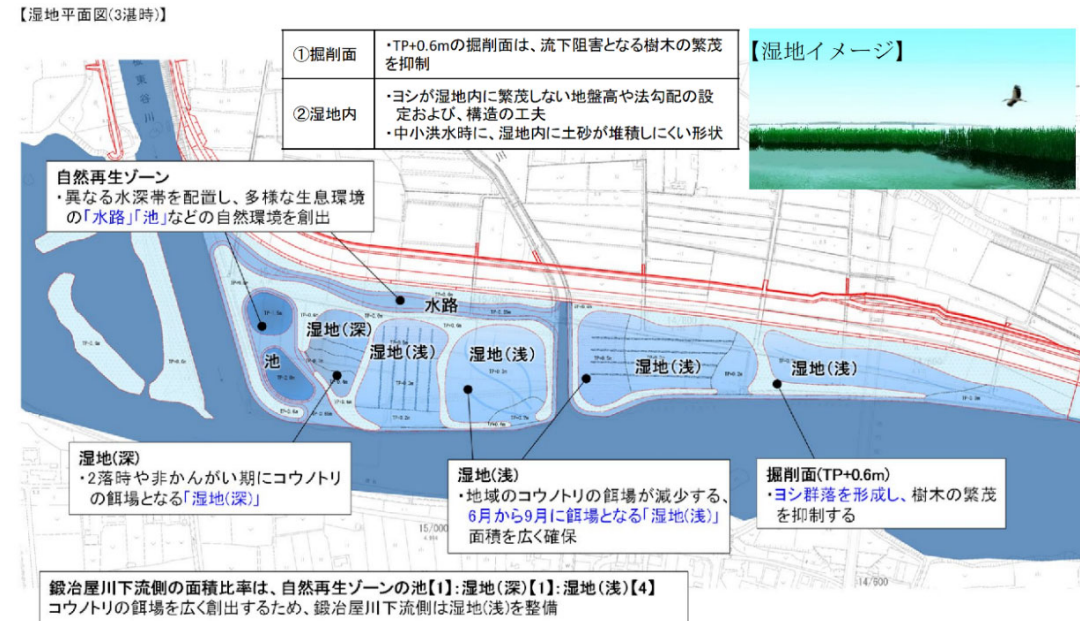
- 旧吉野川津慈地区では、治水対策のための河道掘削が計画されている。周辺にコウノトリの営巣地が位置していることから、河道掘削とあわせて、コウノトリの採食場となるような湿地環境を創出することを目標としている。
- 令和6(2024)年度に第1弾試験施工を実施し、湿地(浅)が完成。令和7(2025)年度から、モニタリング調査を開始した。



湿地環境づくりの手順

希少種情報につき、委員のみ

津慈地区周辺の状況

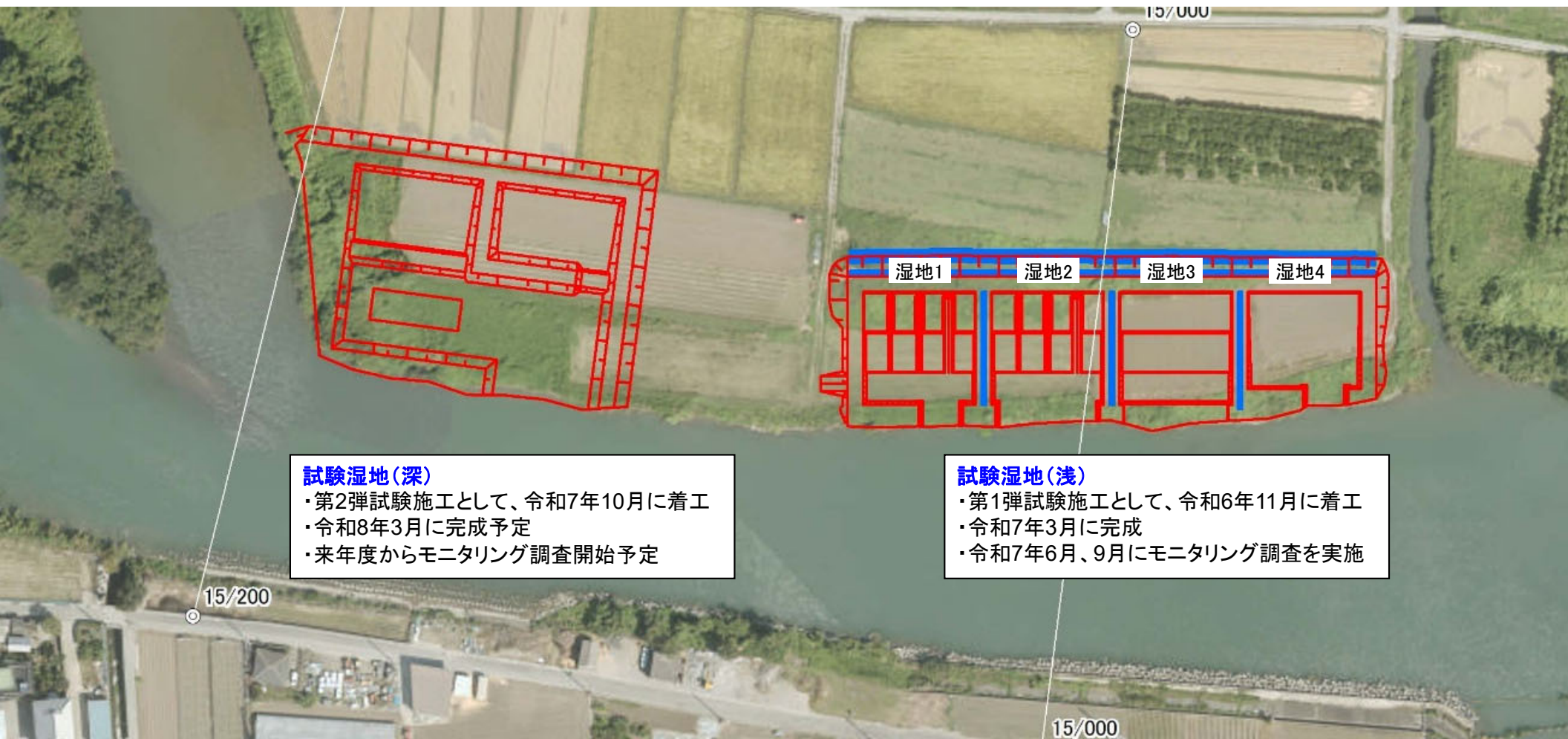


整備する湿地 (本湿地) のイメージ

第3回旧吉野川津慈地区湿地環境づくりワーキング [WG資料より]

試験湿地整備の内容

- 本湿地の整備に先立ち、試験的に小面積の湿地（試験湿地(浅)及び試験湿地(深)）を施工し、それをモニタリングすることで良好な湿地環境の創出に資する知見を蓄積する計画が立案された。



試験湿地のイメージ

試験湿地(浅)へのコウノトリの飛来状況 (タイムラプスカメラによる記録)

- 津慈地区に施工した試験湿地(浅)の4つの湿地に、タイムラプスカメラを設置し、コウノトリの飛来状況を記録している。

希少種情報につき、委員のみ

第3回旧吉野川津慈地区湿地環境づくりワーキング [報告]

- 2026年1月19日に開催。旧吉野川津慈地区河川整備事業地の現地確認、及び室内での現地確認を踏まえた意見交換を実施した。また、生態系ネットワーク形成に向けた短期目標に対する取組の進捗及び評価と中期目標に向けた取組の方向性についての認識を共有した。

〈2025年度〉

第3回旧吉野川津慈地区湿地環境づくりワーキング (2026年1月19日)

【主な内容】

- ・ 旧吉野川津慈地区河川整備事業地の現地確認
- ・ 現地確認を踏まえた意見交換
- ・ 短期目標に対する取組の進捗及び評価と中期目標に向けた取組の方向性についての認識の共有



ワーキングの様子

旧吉野川津慈地区湿地環境づくりワーキングメンバー

氏名	所属・役職等	出席状況
河口 洋一	新潟大学佐渡自然共生科学センター 里山領域／朱鷺・自然再生学研究施設 教授	WEB参加
柴折 史昭	認定NPO法人とくしまコウノトリ基金 事務局長	○
樫本 幸実	日本ビオトープ管理士会徳島支部	○
東條 秀徳	日本野鳥の会徳島県支部 支部長	○
谷地森 秀二	横倉山自然の森博物館 学芸員	欠席
井藤 大樹	徳島県立博物館 主任学芸員	欠席
鈴木 佑弥	徳島県立博物館 主任学芸員	○
外村 俊輔	徳島県立博物館 学芸員	○
内藤 芳香	徳島県立博物館 学芸員	○
大原 賢二	佐那河内いきものふれあいの里 ネイチャーセンター長	○
森田 椋也	徳島大学 人と地域共創センター 講師	WEB参加
佐竹 孝文	鳴門市農林水産課 課長	○
辻 宏人	鳴門市環境政策課 課長	○
長楽 浩司	藍住町建設産業課 課長	○
岡田 渉	藍住町建設産業課 副主任	○

第3回旧吉野川津慈地区湿地環境づくりワーキング [報告]

- 第3回旧吉野川津慈地区湿地環境づくりワーキングでは、以下のような意見が出された。

主な意見等

試験湿地(浅)について

- ・水が常に溜まる場所があれば、水生動物が生息できるので、コウノトリの餌場となる。

モニタリング実施計画(案)、試験湿地(浅)におけるモニタリング調査結果について

- ・水域調査の指標値は、他の地域では水田環境の指標であり、比較するのは難しい。
- ・豊岡戸島湿地等の類似環境で餌生物の結果があれば、比較できるかもしれない。
- ・湿地の鳥をトップとした食物網では、地表性クモ類の調査をすることで評価できる可能性がある。
- ・水生昆虫や魚類の隠れ場として、沈水植物の生育状況も、生態系の指標になると考えられる。
- ・景観的要素のモニタリングも今後の課題である。

自然再生整備地(津慈地区)の利活用について

- ・モニタリングには、一般市民の関わり方も検討して、メニューづくりをしていくとよい。
- ・試験湿地(浅)の改良は、少し楽しみを入れる工夫をして市民参加でできれば、親しみも沸くのではないか。
- ・活動している人を巻き込んだ取組を具体的に検討したい。
- ・企業研修の場として利用することもあり得る。

短期目標に対する取組の進捗及び評価と中期目標に向けた取組の方向性(案)について

- ・短期目標の評価や中期目標に向けた方向性について、WGとして特に異論はない。



今後の方向性

- ・試験湿地(浅)において、常時水が溜まるような場所(深み)の整備を検討する。その際は市民参加での実施も含め検討し、整備地の利活用につなげる。
- ・モニタリングにおける水域調査の指標値、その他モニタリング指標種の追加・変更について、上記意見を踏まえて再検討する。

第11回鳴門地区地域・人づくりワーキング [WG資料より]

地域・人づくりに関連する取組状況（9主体からの取組報告）

①とくしまコウノトリ基金 ※資料2-6参照

②アオアヲナルトリゾート
 ・コウノトリ応援宿泊プラン
 ・イベント等の実施

③ツーリズム徳島

・コウノトリ鑑賞を含むウォーキングイベント
 ・大鳴門橋自転車道開通に係る観光事業の推進

④イーストとくしま観光推進機構

・水上タクシーを活用したイベントの実施
 ・インバウンド向けのサイクルツアーの造成 等



⑤れんこん研究会

・こうのとりのレンコン(農薬・化学肥料減の特別栽培レンコン)の栽培や出荷。
 ・学校給食への提供

⑥JA徳島県

・コウノトリれんこんの取組推進。
 ・とくしまコウノトリ基金の取組(ビオトープ米の栽培)への協力



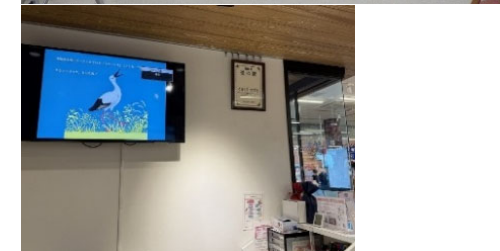
⑦鳴門市うずしお観光協会
 ・なると物産館、道の駅第九の里物産館での、コウノトリブランド認証商品やコウノトリ応援商品の販売



⑨徳島河川国道事務所

・パネル展示（7施設）
 ・動画放映（3施設）

パネル展示施設	動画放映施設
①徳島文理大学	①道の駅くるくるなると
②とくしま動物園	②道の駅第九の里
③大鳴門橋架橋記念館 エディ	③鳴門市観光情報センター
④阿波銀行(本店1階)	
⑤鳴門市役所	
⑥四国大学(交流プラザ)	
⑦上板SA	



※画像は各主体からの提供されたものを含みます。

第11回鳴門地区地域・人づくりワーキング [WG資料より]

大規模集客イベントを見据えた普及啓発・情報発信

【2025年度の実施内容】普及啓発・情報発信ツールの作成

・過年度の検討を踏まえ、来訪者（訪日外国人含む）に、鳴門市のコウノトリ関連箇所、コウノトリ応援商品及びその販売箇所を知ってもらうため、ポスター、チラシ、Googleマイマップを作成する。

● ポスター

・仕様：3案作成

⇒WGで協議し、B案とC案を進める方針となった。

A案：A1・縦置き（複数の写真で構成）

B案：A1・横置き（「あわのくにコウノトリ HANDBOOK」の写真を活用）

C案：A1・縦置き（イラスト多め）

● チラシ

・仕様：A4・縦置き、両面フルカラー

・掲載項目（案）

おもて面：ポスターデザインを活用

裏面：コウノトリに会いに行けるマップ

主要な取り組み紹介（写真中心）



ポスターB案



ポスターC案

● Googleマイマップ

・「あわのくにコウノトリHANDBOOK」掲載情報を基本に、その周辺をサイクリングで周遊することを想定して情報（※）を追加。

※追加する情報



コウノトリスポット
（観察場所や応援商品販売箇所など）



レンコンスポット
（レンコン畑の撮影スポットやレンコンを食べられる場所など）



Googleマイマップのイメージ（作成中）

第11回鳴門地区地域・人づくりワーキング [報告]

- 2026年1月21日に開催し、各主体の取組状況について情報共有するとともに、普及啓発のためのパネル展示・動画放映の取組、大規模集客イベントを見据えた普及啓発・情報発信に関して意見交換を行った。また、生態系ネットワーク形成に向けた短期目標に対する取組の進捗及び評価と中期目標に向けた取組の方向性についての認識を共有した。

〈2025年度〉

第11回鳴門地区地域・人づくりワーキング (2026年1月21日)

【主な内容】

- ・ 地域・人づくりに関連する取組状況について
- ・ 大規模集客イベントを見据えた普及啓発・情報発信について
- ・ 短期目標に対する取組の進捗及び評価と中期目標に向けた取組の方向性についての認識の共有
- ・ 自然再生整備地（旧吉野川津慈地区）の利活用について



ワーキングの様子

鳴門地区地域・人づくりワーキングメンバー

氏名	所属・役職等	出席状況
田村 耕一 【座長】	(一社)イーストとくしま観光推進機構 協議会長	○
柴折 史昭	認定NPO法人とくしまコウノトリ基金 事務局長	○
加守 寛士	(一社)イーストとくしま観光推進機構 事務局次長	○
渡辺 晃	(一社)ツーリズム徳島 理事	○
河口 洋一	新潟大学佐渡自然共生科学センター 里山領域／朱鷺・自然再生学研究施設 教授	WEB参加
藤川 浩	JA徳島県 常務理事	欠席
藤井 優希 (野田 勇人)	NPO法人れんこん研究会 理事長 (NPO法人れんこん研究会)	WEB参加 (代理)
塩崎 桂子	アオアヲナルトリゾート アシスタントセールスマネージャー	欠席
天野 裕己	(一社)鳴門市うずしお観光協会 局長補佐	欠席
五島 寛治	大麻町商工会 会長	欠席
峯 光一	徳島県 生活環境部 サステナブル社会推進課 係長	WEB参加
藤原 将芳 (杉山 誠人)	徳島県 観光スポーツ文化部 観光企画課 係長 (徳島県 観光スポーツ文化部 観光企画課 主任)	○ (代理)
佐竹 孝文 (藤原 陽一)	鳴門市 産業振興部 農林水産課 課長 (鳴門市 産業振興部 農林水産課 主幹兼 副課長)	○ (代理)
藤田 卓也	鳴門市 産業振興部 観光振興課 主幹兼副課長	WEB参加

第11回鳴門地区地域・人づくりワーキング [報告]

- 第11回鳴門地区地域・人づくりワーキングでは、以下のような意見が出された。

主な意見等

普及啓発の取組について

- ・パネル展示や動画放映の新たな展開場所として、徳島県庁ロビー等でも行えるとよい。
- ・パネル展示や動画放映にあわせて行った観覧者へのアンケートは継続して行ってほしい。
- ・コウノトリのイラストを用いる際は、日本のコウノトリの特徴を踏まえて描くよう留意してほしい。

大規模集客イベントを見据えた普及啓発・情報発信の取組（事務局作成中のポスター・チラシ・Googleマイマップ案）について

- ・ワールドマスターズゲームズ2027関西などで来県する外国人へのアピールを想定し、外国人の意見も取り入れてはどうか。
- ・ポスターのデザイン案は、子どもから大人までわかりやすいイラストのものがよい。コウノトリを実際に見たことがない人も多いため、コウノトリの写真を使用したデザインもインパクトがあってよい。
- ・ポスター・チラシでは、並行して作成中のGoogleマイマップの紹介もできるとよい。

短期目標に対する取組の進捗及び評価と中期目標に向けた取組の方向性について

- ・短期目標の評価や中期目標に向けた方向性について、WGとして特に異論はない。
- ・大鳴門橋自転車道開通に伴いサイクリングツアーを企画する動きがあり、その中でコウノトリは大きな魅力の一つになる。
- ・コウノトリに限らず、さまざまな魅力を取り入れ、地元住民や観光関係者と連携して取組を進めていけるとよい。

自然再生整備地（旧吉野川津慈地区）の利活用について

- ・自然再生整備地は、教育旅行のコンテンツとして活用できる可能性があり、平和学習の場であるドイツ館と組み合わせて情報発信ができるのではないかとよい。
- ・実際に環境活動をしている人を地域・人づくりWGにも巻き込んでいくとよい。

今後の方向性

- ・普及啓発の取組（パネル展示・動画放映、それらに伴うアンケート）を継続し、新たな展開場所にも働きかけていく。
- ・大規模集客イベントを見据えた情報発信ツールについては、上記意見を踏まえて進めていく。
- ・教育旅行も含めた学校教育との連携を進めていく。これに際し、実際に環境活動をしている主体など、地域・人づくりWGのメンバーの拡充を検討する。